出前中堅教員サポート塾

８月１９日に成田市で「全国学力・学習状況調査について」の出前中堅教員サポート塾を開催しました。
演習の時間では、グループ協議の中で活発な意見交換が行われました。以下、参加者の感想を紹介します。

成田市（令和６年８月１９日）　参加者３１名

当日の様子と参加者の声

全国学力・学習状況調査の研修を必ず行うべきと感じました。研修主任と連携して校内研修を行いたいと思います。

まずは自分自身が、もう一度じっくりと全国学力・学習状況調査の結果を読み込み分析した上で、校内研修を通して職員全体で課題等検討していきたいと思います。

校内研修を通して、6年生担任だけでなく、全職員が当事者意識をもって分析を行い、児童の実態把握や授業改善につなげていきたいと思います。

全国学力・学習状況調査の結果の読み取り方、校内での具体的な研修例を知ることができ、校内での研修にも役立てられる内容でした。短い時間で内容の濃い研修となり、勉強になりました。

表面上な数値の変化が気になるのは子供も大人も同じだと感じました。背景の課題、それに応じた取組が大切であり、全職員で考えていくことが大切だと感じました。

ＳーＰ表の見方や経年分析シートでの分析方法など、演習を通して具体的に理解することができました。
平均正答率だけでなく、誤答などの別の観点から着目することができたので、今後より校内の結果について深い分析を全職員で行い、学校全体の授業力向上につなげていきたいと思います。

問題を職員で解くことは今年すでに実施できました。結果分析について理解不足だった点を本日の研修で確認できたので、誤答分析等の結果をさらに学校・授業改善に活かしたいと思いました。